



田村剛一議員

NPO問題 責任の取り方は 年内に決定し議会に諮る

問 裁判はどのように進んでいるか。刑事告訴の可能性はあるか。

佐藤町長 裁判中であるため、詳細は申し上げられない。

刑事告訴の可能性については、宮古警察署に相談している。

問 NPO問題については、前・現執行部に責任がある。責任問題について前執行部と話し合ったか。

佐藤町長 現執行部の責任の取り方を年内に決定し、議会に諮る。前執行部とは、現段階では話し合っていない。

いない。

甲斐谷副町長 23年度事業の再精査の結果が出た後で、前執行部との話し合いの機会を持ちたい。

問 復興事業の進行に伴い、不特定多数の人が町にやって来る。町の秩序を守るために、NPO問題の教訓をどう生かすか。

佐藤町長 復興に必要な団体かどうかを冷静に判断し、法令順守と適正な行政運営を行う。

関係機関との連携を密にし、町民への情報提供にも努める。

山田地区復興の遅れが心配 27年度から順次住宅建築開始予定

問 山田地区の復興事業の工期は31年3月31日までであるが、他地区に比べて遅いのではないか。

佐藤町長 津波復興拠点整備事業は27年度、防災集団移転促進事業と土地地区画整理事業は30年度に完了予定である。

問 防災集団移転促進事業や土地地区画整理事業が30年度までかかるのであれば、住宅の建築開始時期は31年度以降か。

山田技監 高台やかさ上げ区域では、27年度から順次住宅建築を開始する計画である。

問 優れた観光資源である山田湾を生かすため、まちづくりの中で避難所を兼ねた展望台を整備し、観光客誘致に努めてはどうか。

沼崎復興推進課長 展望台の構想はないが、平時も利用できる避難タワーの整備について検討している。

児童生徒の生活に変化は 全体的に落ち着いてきている

問 震災から2年半が経過したが、児童生徒に変化が見られるか。

佐々木教育長 全体的に落ち着いてきているが、心のケア、サポートが必要な児童生徒がおり、スクールカウンセラーが対応している。

問 全国的に問題になっている、いじめや体罰についての実態は。

佐々木教育長 行き過ぎた指導により児童と保護者に事情を説明し、おわびした事案はあるが、事件・事故につながるようないじめや体罰の報告はない。



山田高校付近に道路が延長され、高台住宅団地が造成されます

◆ 観光事業の推進と魅力あるまちづくりについて
その他の質問